

青龍楽校（水辺の楽校）ニュース

No.186(2016. 2) 発行: 青龍楽校利活用委員会



水辺の楽校復旧作業

昨年9月の豪雨災害で鬼怒川河川敷が冠水し、子どもたちが水に親しみながら自然体験のできる学びの場として活用されていた「水辺の楽校」の敷地内にある「はじまりの池」や「ワンド」及び「せせらぎ水路」が土砂に埋まってしまいました。そのため、2月6日（土）に青龍楽校少年団、花と一万人の会、大形小の児童や教員、PTA、国交省関東地方整備局鎌庭出張所など約80人が集まり、スコップを使って土砂を取り除きました。

水辺の楽校とは・・・？

鬼怒川水辺の楽校とは、鬼怒川に架かる大形橋の左岸（鬼怒フラワーライン）と右岸（原っぱ広場）の総称です。

左岸の鬼怒フラワーラインでは「花とふれあいまつり」「鬼怒川流域交流E ボート大会」が開催され、右岸の原っぱ広場は、鬼怒川からの水を引き込み「自然体験」や「自然学習」の場となっています。



ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました！

次回の行事予定は「草取り交流会&閉校式」を実施いたします。
今年度の青龍楽校少年団最後の事業となります。参加をお待ちしております（＾＾）

